

2025年度「台湾日本語教育研究」国際学術シンポジウム

基調講演

人間とAIの補完性から描く日本語教育の再設計

— 変えるべきこと・守るべきこと —

長谷部 陽一郎



1. はじめに

AI活用が加速する中での教育設計

人間の強み

- ・ 状況・目的・相手に応じた理解と表現
- ・ 関係性や印象の調整
- ・ 実践的なやりとりと省察

AIの強み

- ・ 言語データに基づく一貫した評価
- ・ 迅速な書き換え・フィードバック
- ・ 学習の循環を支える力

本講演の問い

AIと人間がそれぞれ力を発揮する部分を見極め、「**変えるべき領域**」と「**守るべき核**」を明確に。
AI導入により目指すべきは、教師の代替ではなく、**相互補完**による学びの質の向上。

1. はじめに

本講演でお話ししたいこと

- **AIによる言語処理の特性** 多次元構造的把握と並列処理
- **日本語教育でのAI活用** jWriterの紹介 — [テキスト分析+統計モデル] × 大規模言語モデル
- **AIによる学習の循環** 学習者の学習サイクルと学習システムの改善サイクル
- **AIの限界とは** 学習者の言語知識と現実における「いま・ここ」を接地させること
- **変えるべきこと** AIを活用した学習の循環—AIは「補助的なツール」から「補完的なツールへ」
- **守るべきこと** 文脈を読み、曖昧さに対処し、人との協働の中で学ぶ
現実世界との「接地」を通じた言語的な気づきと経験

2. AIによる言語処理の特性：人間の認知的制約とAIの処理特性

言語処理の例：テキストの平易化

テキストの平易化（＝「やさしい日本語」への変換）は、本質的に**多次元的な処理**を要求する。内容・構造・語彙難易度・文法的複雑さ・論理的つながりを同時に把握し、**線形的なテキスト**として再構築する必要がある。

人間の認知的制約

ワーキングメモリに約4チャンク程度の情報しか同時に保持できない
→ 情報を簡略化・省略して認知負荷を軽減する傾向

AIの処理特性

Transformer + Self-Attentionが多次元的な並列処理を可能に
→ 情報量を維持しつつ読みやすさを向上

本講演で「AI」は**大規模言語モデル（LLM）**を用いたコンピュータシステム全般を指す

テキスト平易化タスクにおける比較研究

Hasebe and Lee (2025) "Divergent strategies in text simplification: A comparative analysis of AI and human approaches in language processing" *Intercultural Pragmatics*, 22(2), 203-230.

研究データ

- ・ 420件のNHKニュース記事
- ・ 5ジャンル：経済・国際・政治・社会・スポーツ

3つのコーパス



リサーチクエスチョン

1. AIは人間の専門家よりも効果的にテキスト平易化を行えるか？
2. AIと人間の平易化戦略はどのように異なるか？
3. 両者の違いは人間の認知過程の理解にどのような示唆を与えるか？

jR jReadability 日本語文章難易度判別システム

評価指標：jReadability のリーダビリティ式

上級後半 (0.5-1.4) とてもむずかしい

上級前半 (1.5-2.4) むずかしい

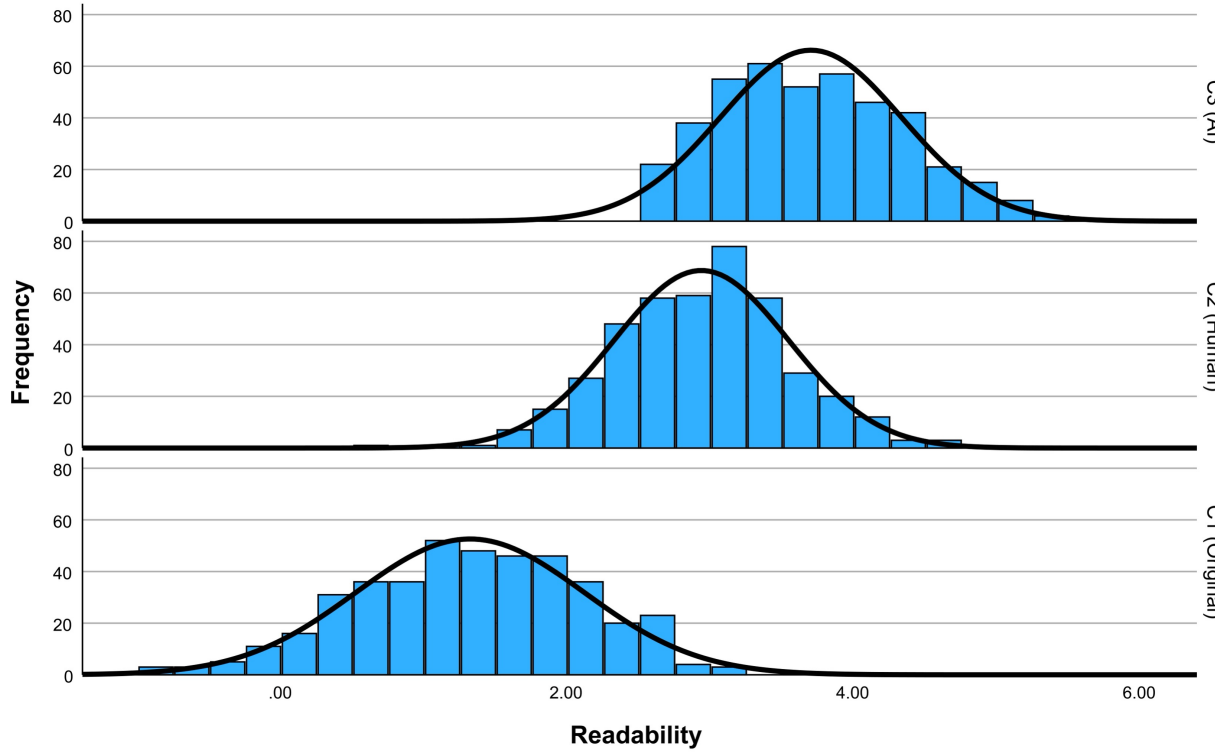
中級後半 (2.5-3.4) ややむずかしい

中級前半 (3.5-4.4) ふつう

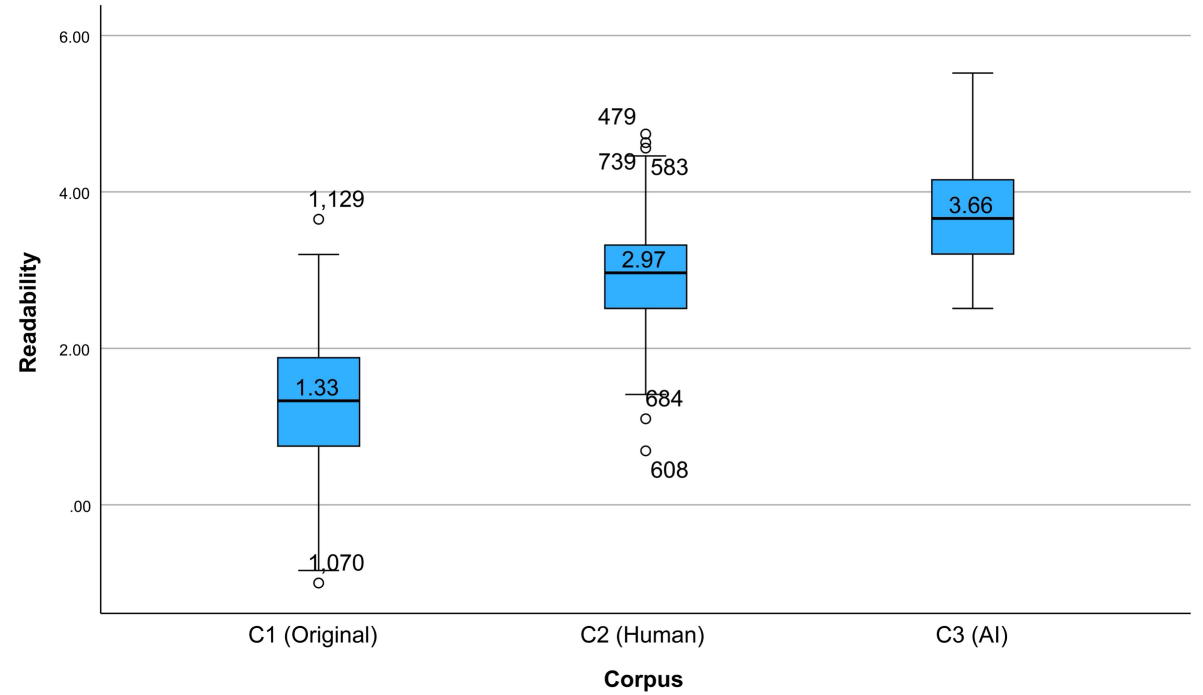
初級後半 (4.5-5.4) やさしい

初級前半 (5.5-6.4) とてもやさしい

リーダビリティスコアの比較



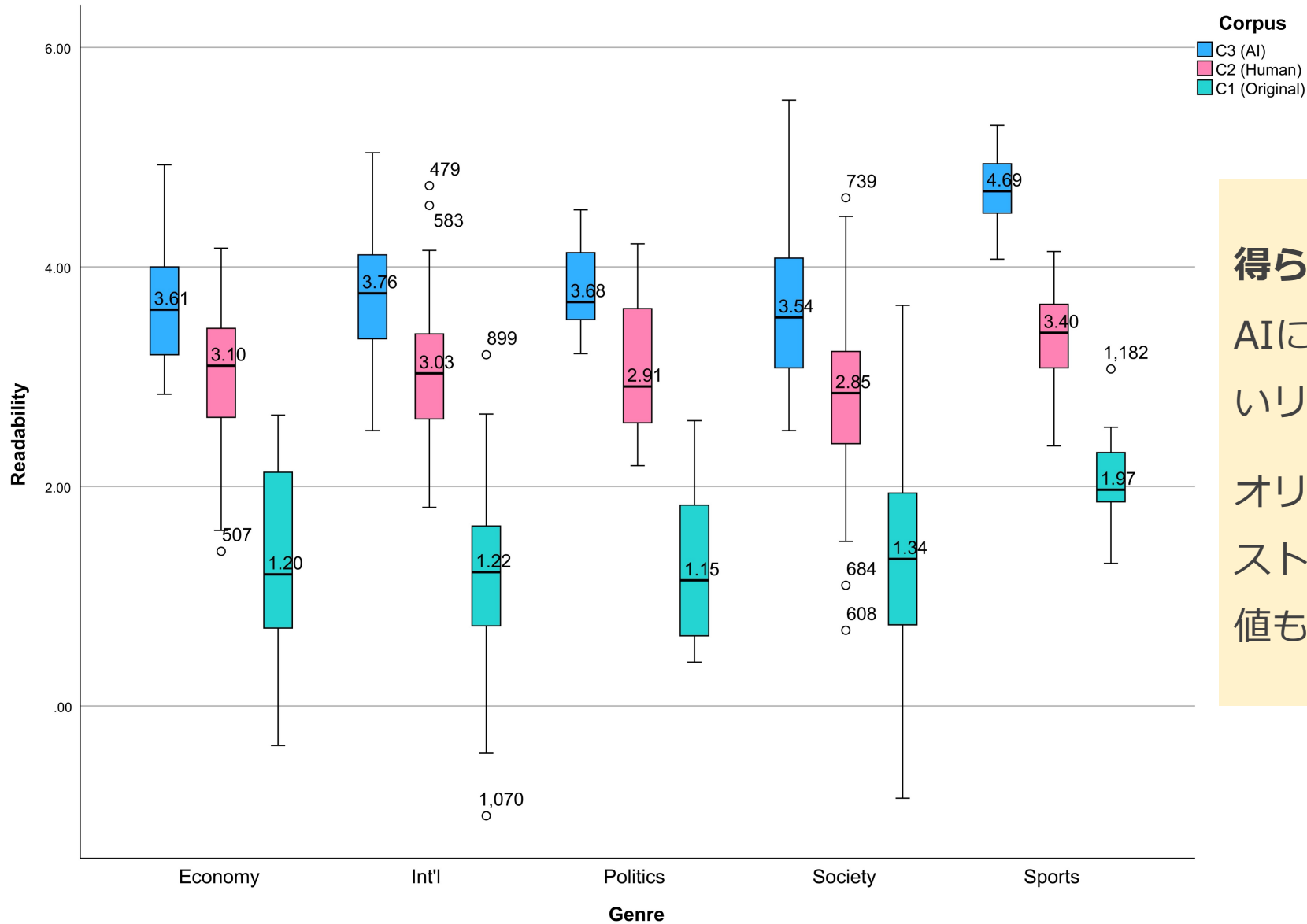
図：リーダビリティスコアの分布



図：リーダビリティスコアの箱ひげ図

得られた知見：AIによる平易化テキストは、安定して人間より高いリーダビリティスコアを達成

ジャンル別のリーダビリティ比較

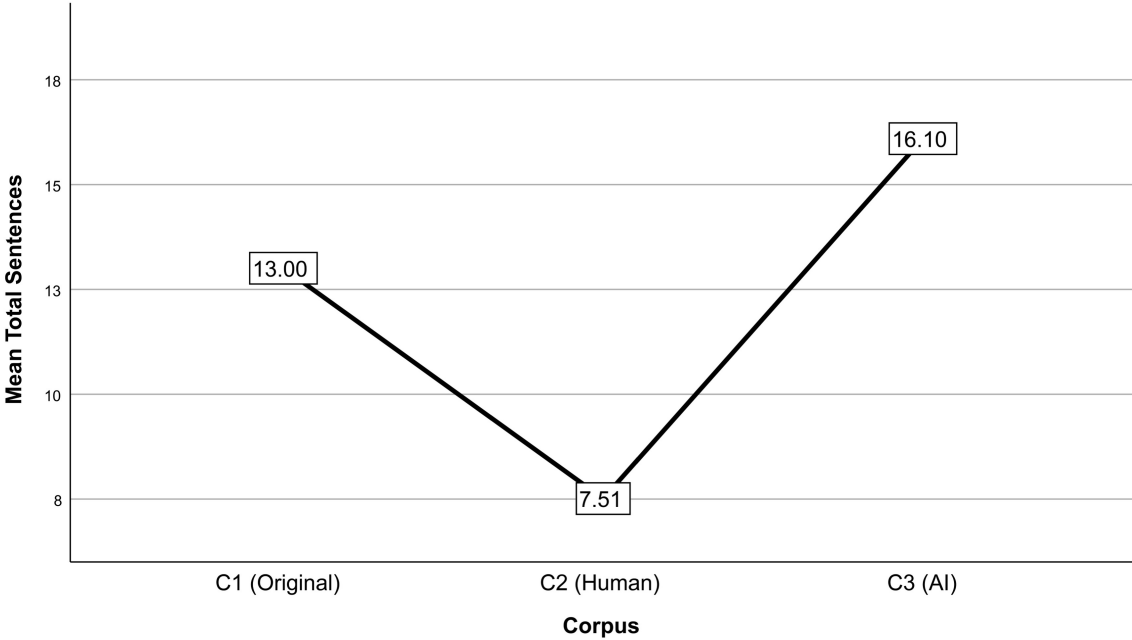


得られた知見：ジャンルごとに見ても、AIによる平易化テキストは、人間より高いリーダビリティスコアを達成。

オリジナル記事や人間による平易化テキストに比べて、取る値の幅は狭く、外れ値も少ない

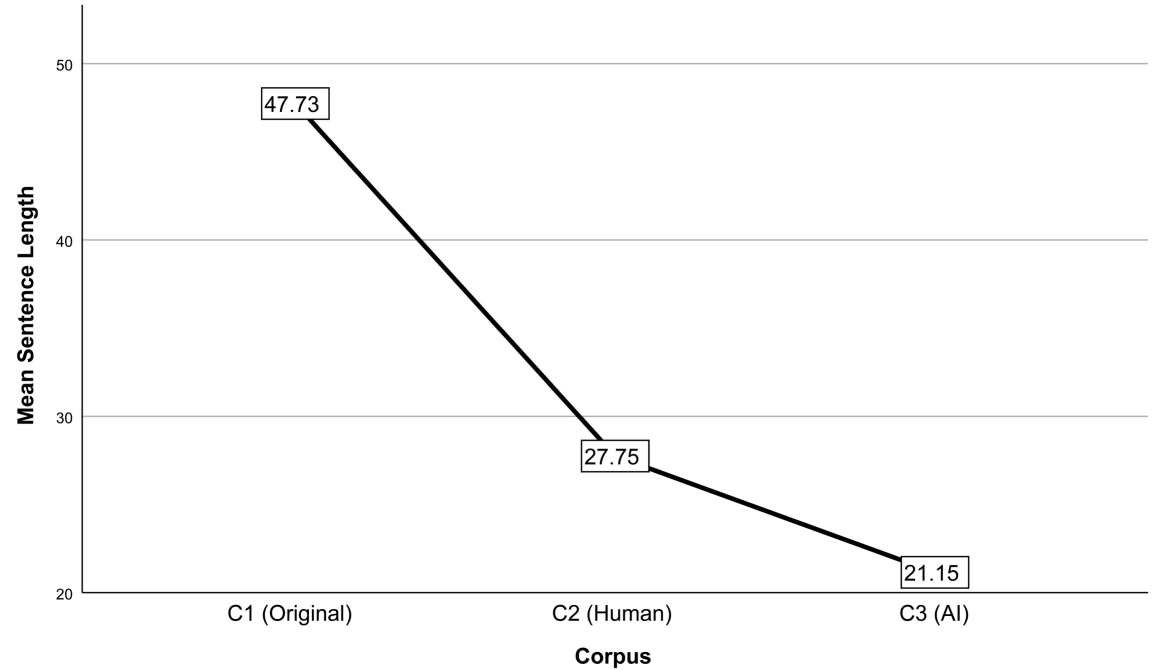
図：ジャンル別リーダビリティスコア

文レベルの特徴 — 異なる平易化戦略




図：平均文数

人間による平易化ではオリジナルより少ない文数
AIによる平易化ではオリジナルよりむしろ多い文数



図：平均文長

人間による平易化ではオリジナルより短い文の長さ
AIによる平易化ではさらに短い文の長さ

 **人間の戦略**：情報を削減・要約して簡潔に（**抽象化**）



 **AIの戦略**：情報を維持しつつ構造を整理（**体系的変換**）

AIの並列処理能力と教育への示唆

処理方式の違い

 **人間の処理** : ワーキングメモリの制約により言語情報を線形的に処理

→ 一部の情報を削ぎ落とす「**抽象化**」に頼りがち

 **AIの処理** : Transformer + Self-Attentionにより多次元情報を並列処理

→ 基本的な情報を保持しつつ短めの文を用いた構造に「**体系的な変換**」を行う

AIの教育への応用可能性

評価とフィードバック、代替表現の提案、個々の学習者に合わせた教材作成、etc.

⚠ 重要 : AIの非決定性、ハルシネーション、独自解釈の危険性 → 人間による確認・修正・制御が必要

3. 日本語教育でのAI活用：jWriterについて



2つの基盤技術とAIによる評価

- **テキスト分析**と**統計モデル**による数値化・可視化
- **AI**を用いた具体的・個別的なフィードバック

単なるAIチャットボットではない
→ 独自の評価指標を用いた「診断」と「助言」のツール

李 (2021), 李ほか (2023), Lee and Hasebe (2020),
Hasebe and Lee (2025), 長谷部・李 (2025)

新しい処理を行うにはリセット

Eddy (Local)

は左が期待値を文付してはいけません。

次に、清潔な自然環境も大切です。みんなは清潔な自然環境で長く住むことができます。将来の世代もいい命のチャンスを持てるように、現代の世代は自然環境を最も良く保全しなければなりません。

最終の点は裕福についてです。少数の人が、他の人より、たくさんのお金を持っていることは日常的ですが、その違いが大きすぎると、社会的な緊迫状態と機会の不平等を起します。それで、裕福の分轄はできるだけ同じでなければなりません。

目標文字数 300 詳細な分析結果を表示する

実行 クリア リセット

レベル別サンプルテキスト
→ 作文課題URL生成

入力 テキスト評価 AI診断 語彙情報 接続表現 ワードクラウド 語彙リスト 語彙ネットワーク 意味階層図

総合的評価

あなたの作文は**中級**レベル相当であると考えられます (2.33)。

中級

このシステムでは、学習者コーパスの作文とあなたの作文を比較することで、レベルを計算します。下記の点に注意してください。

超級は本システムが測定できるレベルを超えた能力であるため、判別の妥当性は保証できません。測定不可は、本システムでは判断できないレベルです。

測定不可 (入門以下のため)：入門レベルよりも低い言語特徴であるため、測定できません。

測定不可 (超級以上のため)：超級レベルよりも高い言語特徴であるため、測定できません。

熟達度スコアとレベルの対応表

熟達度スコアとレベルの関係は以下の通りです：

| 熟達度スコア | レベル | 能力イメージ |
|-----------|-----|---------------------------------------|
| 0.1 ~ 0.5 | 入門 | 日本語を勉強してまもない学習者のこと。非常に初歩的な文型と語彙が使えます。 |
| 0.5 ~ 1.5 | 初級 | やさしい単語と文法をつかって、自分の考えを表現できます。 |
| 1.5 ~ 2.5 | 中級 | 比較の難しい単語や文法をつかって、自分の考えをある程度自由に表現できます。 |
| 2.5 ~ 3.5 | 上級 | 単語や文法の選択に不自由がなく、自分の考えをより客観的に表現できます。 |
| 3.5 ~ 4.5 | 超級 | 複雑な構文と難解な語彙を使って、自分の考えを表現できます。 |

語の使い方に関する診断的評価

開く/閉じる

語の多様性

| 項目 | スコア |
|--------|------|
| グループ平均 | 0.34 |
| あなたの作文 | 0.41 |

グループの平均よりも色々な単語をバランスよく使用しています。この部分は上級レベル以上に相当します。

漢語力

| 項目 | スコア |
|--------|------|
| グループ平均 | 0.18 |
| あなたの作文 | 0.25 |

グループの平均よりも漢語がたくさん使用されています。和語を入れた表現も使ってみましょう。この部分は上級レベル以上に相当します。

jWriterの熟達度判定と診断的評価

多言語母語の日本語学習者横断コーパスに基づくモデル

I-JAS : 日本を含む20の国と地域で、異なった12言語を母語とする日本語学習者1,000人の話し言葉および書き言葉を収集したコーパス。

レベル別、母語別、技能別、学習環境別にデータの比較が可能。

熟達度判定

学習者データに基づく回帰モデルで**入門/初級/中級/上級/超級** を判定。

作文力 = $1.637 + \text{平均語数} \times 0.045 + \text{中級後半語} \times 0.021 + \text{タイプ・トークン比} \times -0.430 + \text{動詞} \times 0.015 + \text{中級前半語} \times 0.011 + \text{総文字数} \times -0.004 + \text{和語} \times 0.007 + \text{漢語} \times 0.007$ (R2=0.760)

診断的評価

同レベル学習者の平均と比較して「何を伸ばすべきか」を指摘

語の多様性、漢語力、長文作成力、難解語使用率

熟達度スコアとレベルの対応表

熟達度スコアとレベルの関係は以下の通りです：

| 熟達度スコア | レベル | 能力イメージ |
|-----------|-----|---------------------------------------|
| 0.1 ~ 0.5 | 入門 | 日本語を勉強してまもない学習者のこと。非常に初歩的な文型と語彙が使えます。 |
| 0.5 ~ 1.5 | 初級 | やさしい単語と文法をつかって、自分の考えを表現できます。 |
| 1.5 ~ 2.5 | 中級 | 比較的難しい単語や文法をつかって、自分の考えをある程度自由に表現できます。 |
| 2.5 ~ 3.5 | 上級 | 単語や文法の選択に不自由がなく、自分の考えをより客観的に表現できます。 |
| 3.5 ~ 4.5 | 超級 | 複雑な構文と難解な語彙を使って、自分の考えを表現できます。 |



jWriterの詳細な言語情報表示

 **語彙情報**：文ごとの詳細な語彙分析と難易度表示

 **接続表現**：接続詞や機能表現の使用状況を分析

 **語彙リスト**：全語彙項目の頻度情報を含むリスト

信頼 ✕

発音：シンライ

分類：名詞-普通名詞-サ変可能

語彙レベル：中級後半

語種：漢語

語義1：その人やものを信じて、頼りにする
用例：信頼していたあの人に裏切られて、ショックだった。

語義2：その人やものを信じて、頼りにすること
用例：20年一緒にやってきた夫が浮気し、信頼がゆらいだ。

結果保存 (CSV : Shift-JIS)

結果保存 (CSV : UTF-8)

| 出現順 | 基本形 | 読み | 分類 | 頻度 | % | 変化形 | レベル | レベル |
|-----|-----|-----|------------|----|--------|---------------|-----|------|
| 1 | 国 | クニ | 名詞-普通名詞-一般 | 4 | 1.2862 | 国 (4) | 1 | 初級前半 |
| 2 | は | ハ | 助詞-係助詞 | 14 | 4.5016 | は (14) | | |
| 3 | どう | ドウ | 副詞 | 1 | 0.3215 | どう (1) | 2 | 初級後半 |
| 4 | する | スル | 動詞-非自立可能 | 3 | 0.9646 | し (2), すれ (1) | | |
| 5 | ば | バ | 助詞-接続助詞 | 4 | 1.2862 | ば (4) | | |
| 6 | , | | 補助記号-読点 | 15 | 4.8232 | 、 (15) | | |
| 7 | 良く | ヨク | 副詞 | 2 | 0.6431 | 良く (2) | 2 | 初級後半 |
| 8 | 生きる | イキル | 動詞-一般 | 1 | 0.3215 | 生き (1) | 2 | 初級後半 |
| 9 | られる | ラレル | 助動詞 | 1 | 0.3215 | られる (1) | | |
| 10 | 場所 | バシヨ | 名詞-普通名詞-一般 | 1 | 0.3215 | 場所 (1) | 2 | 初級後半 |

- 1 国は どう すれば、良く 生きられる 場所 になります でしょうか。
- 2 この 質問 を 答える ために、私 は 4 点 について 書きたい と思います。
- 3 それは 平和 と 平等 と 自然 環境 と 裕福 です。
- 4 自分の 国 で 良く 生きられる ように、平和 は 一番 大切 前提 条件 であり、戦争 を 起きる 危険 が ない ほうが 良い です。
- 5 なぜ なら 自分の 命 を 脅かされ ている そう だと、将来 を 予定 する ことが 難しい から です。
- 6 それ で、国 の 中 に 戦う ことは みんな に 危険 です。
- 7 次の 点は 平等 です。
- 8 いい 国 では みんな が イコール・オポチュニティー を 持た なければ なりません。
- 9 性 や 宗教 などの 間 で 不平等 が おきると、社会的 な 緊迫 状態 が 表れます。
- 10 ですから、政府 と 市民 社会 は 差別的 な 待遇 を 支持 しては いけません。
- 11 次に、清潔 な 自然 環境 も 大切 です。
- 12 みんな は 清潔 な 自然 環境 で 長く 住む ことが できます。

機能： 順接 逆接 並列・列挙 対比 例示 理由 譲歩

- 1 国はどうすれば、良く生きられる場所になりますでしょうか。
- 2 この質問を答えるために、私は4点について書きたいと思います。
- 3 それは平和と平等と自然環境と裕福です。
- 4 自分の国で良く生きられるように、平和は一番大切前提条件であり、戦争を起き
- 5 **なぜなら**自分の命を脅かされているそうだと、将来を予定することが難しいから
- 6 **それで**、国の中に戦うことはみんなに危険です。
- 7 次の点は平等です。
- 8 いい国ではみんながイコール・オポチュニティーを持たなければなりません。
- 9 性や宗教などの間で不平等がおきると、社会的な緊迫状態が表れます。
- 10 ですから、政府と市民社会は差別的な待遇を支持してはいけません。
- 11 **次に**、清潔な自然環境も大切です。

設計思想：[自然言語処理 + 統計モデル] × 大規模言語モデル

利用要件：300文字以上 + 中級以上の評価

統計モデルが正確に機能するためのテキストサイズとレベル

データを動的に埋め込むことでプロンプトを構築

- 学習者による作文テキスト
- 自然言語処理と統計モデルによる客観的な分析データ



4つのAI診断機能

1. 内容のフィードバック
2. 文法と単語のフィードバック
3. 作文の比較（リライト提案）
4. 修正済み作文へのフィードバック

従来技術を「**アンカー**」
として用いることで、生成AIのフィードバックを
制御し、信頼性を担保

内容フィードバックのプロンプト例（実際のテンプレートとは異なる）

あなたは日本語教育の指導者です。以下の評価用テキストは日本語学習 …

【評価用テキスト】

%TEXT%

【jWriter による客観的な分析データ】

%ANALYSIS_DATA%

【タスク】

上記の分析データを参考にして、以下の5つのタスクに従って評価して …

1. 「総評」という見出しをつけて、作文の良いところを述べてください…
2. 「自然なことば」という見出しをつけて、文法的におかしいところや…
3. 「分かりやすいことば」という見出しをつけて、意味的におかしいと…
4. 「論理的なことば」という見出しをつけて、全体の論理構成をチェッ…
5. 主張が含まれる文章の場合は、「主張の根拠」という見出しをつけて…

評価は全体で300～500文字程度にまとめてください。上記タスクに従っ…

AI診断機能①：内容のフィードバック

多面的な評価の観点

1. 総評
2. 自然なことば
3. 分かりやすいことば
4. 論理的なことば
5. 主張の根拠

内容のフィードバック

次の手順で作文を改善しましょう。

- Step1：コメントを読みます
- Step2：書き直します。
- Step3：書き直したものを評価します

← 単なる添削にとどまらず、リライトのプロセスを明確に指示。

1. 総評

この作文は、国が良く生きられる場所になるために必要な4つのポイントをわかりやすく述べています。各ポイントについて具体的な理由を添えて説明しており、意見がはっきり伝わっています。語彙も多様で、テーマに沿った内容がしっかりと書かれている点が良いです。

2. 自然なことば

文法上におかしい部分や不自然な表現があります。例えば、「良く生きられるように」や「裕福について」などの表現は、もう少し自然な言い方にすると良いでしょう。また、「戦争を起さる危険がないほうが良いです」など、一部の表現は少し硬く感じられます。全体的に、書き言葉として自然な表現を意識すると、より良くなります。

3. 分かりやすいことば

「裕福の分轄はできるだけ同じでなければなりません」という部分は、意味がわかりにくいです。お金の差が大きいと問題が起きることは伝わりますが、「分轄」という言葉は一般的ではなく、意味がわかりにくいです。もっとわかりやすい言葉にすると、伝えたいことが伝わりやすくなります。

4. 論理的なことば

段落ごとにテーマがはっきりしていて、接続詞も適度に使われています。ただし、段落間のつながりがもう少し明確になると、全体の流れがもっと良くなります。情報の整理はしっかりとされていて、ポイントごとに分かりやすく書かれています。

5. 主張の根拠

それぞれのポイントについて、なぜそれが大切かの理由が具体的に述べられています。例えば、戦争の危険性や差別の問題についての説明は、主張を支える根拠になっています。全体的に、意見を裏付ける根拠がしっかりと書かれています。

書き直したものを入力して評価ボタンをクリックしてください

元のテキストに戻る

国はどうすれば、良く生きられる場所になりますでしょうか。この質問を答えるために、私は4点について書きたいと思います。それは平和と平等と自然環境と裕福です。

自分の国で良く生きられるように、平和が一番大切前提条件であり、戦争を起さる危険がないほうが良いです。なぜなら自分の命を脅かされていそうだと、将来を予定することが難しいからです。それで、国の中に戦うことはみんなに危険です。

次の点は平等です。いい国ではみんながイコール・オポチュニティーを持たなければなりません。性や宗教などの間で不平等がおきると、社会的な緊迫状態が表れます。ですから、政府と市民社会は差別的な待遇を支持してはいけません。

次に、清潔な自然環境も大切です。みんなは清潔な自然環境で長く住むことができます。将来の世代もいい命のチャンスを持てるように、現代の世代は自然環境を最も良く保全しなければなりません。

最終の点は裕福についてです。少数の人が、他の人より、たくさんのお金を持っていることは日常的ですが、その違いが大きすぎると、社会的な緊迫状態と機会の不平等を起さす。それで、裕福の分轄はできるだけ同じでなければなりません。

501文字

① 修正済みの作文を評価するには、下記のチェックボックスにチェックを入れてください。AIによるコメントは、変更が一定条件（変更2箇所以上かつ15文字以上、または変更率3%以上）を満たす場合に生成されます。

研究目的でのデータ提供に同意する（匿名） - 必須

× クリア

修正済みの作文を評価

AI診断機能②：文法と単語のフィードバック

文単位の精密な分析

表形式での提示：文ごとに「修正案」と「解説」を一覧表示。

具体的な指摘：語句の選択、正しい文法、自然なコロケーション

学習者の表現と言い換え表現を異なる色で差分表示。学習者は自分のライティングの傾向を客観的に把握できる。

| ID | 文 | フィードバック |
|----|---|---|
| 1 | 国はどうすれば、良く生きられる場所に なりますでしょうか 。 | 「 良く生きられる場所になる 」は自然な表現です。ただし、「なりますでしょうか」の丁寧さはやや硬い印象を与えます。中級レベルでは、「 どうすれば良く生きられる場所になりますか 」の方が自然です。 |
| 2 | この質問を 答えるために 、私は 4点について書きたいと思 います 。 | 「 この質問に答えるために 」や「書きたいと思います」は自然ですが、「答えるために」の部分は「答えるために」ではなく、「答えるために」の方が適切です。また、「4点について書きたいと思」も良い表現です。 |
| 3 | それは平和と平等と自然環境と 裕福 です。 | 「裕福」は名詞としては正しいですが、「 裕福さ 」や「 豊かさ 」の方が一般的に使われます。例：「 平和と平等と自然環境と豊かさです 」がより自然です。 |
| 4 | 自分の国で 良く生きられるように 、平和は一番 大切前提条件 であり、 戦争を起さる 危険がないほうが良いです。 | 「良く生きられるように」は「 良く生きられるように 」が正しいです。「大切前提条件」は「 大切な前提条件 」または「 最も大切な前提条件 」の方が自然です。「戦争を起さる」は「 戦争が起さる 」が正しい表現です。 |
| 5 | なぜなら自分の命を 脅かされていそうだと 、 将来を予定すること が難しいからです。 | 「脅かされていそうだと」は少し不自然です。「 脅かされていると 」や「 脅かされていると感じると 」の方が自然です。「将来を予定すること」は「 将来を計画すること 」や「 将来について考えること 」の方が適切です。 |
| 6 | それで、国の中に 戦うことはみんなに危険です 。 | 「戦うことはみんなに危険です」よりも、「 戦争はみんなにとって危険です 」や「 戦争が起きるとみんなに危険です 」の方が自然です。 |
| 7 | 次の点は平等です。 | この文はシンプルで良いですが、「 次に述べる点は平等です 」や「 次のポイントは平等です 」の方がより明確です。 |

AI診断機能③：作文の比較（AIリライト）

AIによる修正案との対照

差分からの学習：「どのような表現が可能か」という観点からの学習

作文の比較

- このリライト例は、生成AIがあなたの作文をもとに書き直したものです
- AIの日本語作文をコピー&ペーストして宿題として提出することはよくありません
- AIが書き直したものとあなたが書いたものを比べながら、どんなところが違うのかチェックしてみましょう
- 2つを比べて考えることで、あなたの日本語もよくなります

「コピーして提出しないように」という教育的配慮の注意書きを表示。マウスで選択不可、コピー不可の設定。

あなたの作文 変更箇所を強調

国はどうすれば、良く生きられる場所にな**ります**でしょうか。この質問を答えるために、私は**4**点について書きたいと思います。それは平和**と**平等**と**自然環境**と**裕福です。

自分の国で**良く生きられるように**、**平和が一番大切** 前提条件で**あり**、戦争を起さる危険がないほうが良いです。なぜなら自分の命を脅かされてい**そうだと**、**将来を予定**することが**難しい**からです。**それで**、国の中**に戦う**ことはみんなに危険です。

次の点は平等です。**いい国ではみんながイコール・オポチュニティー**を持たなければなりません。性や宗教などの**間で**不平等が**おき**ると、**社会的な緊迫状態が表れます**。ですから、政府**と**市民社会は差別的な**待遇**を支持してはいけません。

次に、清潔な自然環境も大切です。みんなは**清潔**な自然**環境**で長く**住む**ことができます。将来の世代も**いい命のチャンス**を持つように、**現代**の世代は自然環境を**最も**良く保全しなければなりません。

AIによるリライト（コピー不可）

国はどうすれば、**より**良く生きられる場所にな**る**でしょうか。この質問に答えるために、私は**四つの**点について書きたいと思います。それは平和、平等、自然環境、**そして豊かさ**です。

自分の国で**安心して暮らせるようにするためには**、**まず平和が最も重要な** 前提条件です。**戦争**が起さる危険がないほうが良いです。なぜなら、**自分の命が脅かされていると感じると**、**将来の計画を立て**ることが**難しくなる**からです。**そのため**、国の中で**戦いが起きる**ことは、**みんなにとって**危険です。

次の点は平等です。**良い国では**、**みんなが平等な機会**を持たなければなりません。**性別**や宗教などの**違いによる**不平等が**生じ**ると、**社会に緊張や不安が生まれます**。**だからこそ**、政府**や**市民社会は差別的な**扱い**を支持してはいけません。

次に、清潔な自然環境も**非常に**大切です。みんなは**きれいな自然の中**で長く**暮らす**ことができます。将来の世代も**良い生活を送れ**るように、**今**の世代は自然環境を**できるだけ**良く保全しなければなりません。

AI診断機能④：リライト評価

「評価して終わり」からの脱却

修正 → 再評価のサイクル

学習者が修正した作文の変化を **定量化 + コメント**

学習者のモチベーション維持と自律的な推敲を支援

AIによるコメント

フィードバックへの対応

文法的な不自然さや表現の明確さに関する指摘が一部修正されていますが、依然として不適切な表現が残っています。

修正内容の評価

- 「良く生きられるように」を「住みやすい国にするための、客観的な条件です」に変更した点は適切ですが、表現が少し冗長です。
- 「裕福について」を「裕福の分轄はできるだけ同じでなければなりません」に変更した部分は不適切で、意味が不明瞭です。
- 「戦争を起さる危険がないほうが良いです」の表現は不自然で、「戦争が起こる危険がないほうが良いです」とすべきです。
- 文中に話し言葉的な表現が見受けられ、論説文としての一貫性が欠けています。

アドバイス

表現の明確さを重視し、特に「裕福」や「戦争」に関する表現を見直してください。また、文体の一貫性を保つために、話し言葉的な表現を避けるようにしましょう。

修正済み作文の評価結果

元のテキスト

評価レベル: 中級 **2.33**

修正版テキスト

評価レベル: 上級 **2.58**

改善度

それほど改善されていません。さらに修正が必要です。

詳細データ

| | 元のテキスト | 修正版テキスト |
|------------|--------|---------|
| 評価スコア (数値) | 2.33 | 2.58 |
| 文字数 | 501 | 567 |
| 文数 | 16 | 15 |
| 長文作成力 | 31.3 | 37.8 |

研究データの収集

jWriter の熟達度判定、診断的評価、3つのAI診断では学習者が入力したデータを保存・取得しない。

リライト評価では**修正前後のデータをシステム改善のために取得**する。

オプトイン方式：ユーザーの明示的な同意がある場合のみ実施。

📌 修正済みの作文を評価するには、下記のチェックボックスにチェックを入れてください。AIによるコメントは、変更が一定条件（変更2箇所以上かつ15文字以上、または変更率3%以上）を満たす場合に生成されます。

研究目的でのデータ提供に同意する（匿名） - 必須 ?

✕ クリア

☑ 修正済みの作文を評価

データ収集について

収集されるデータ

- 作成した元の文章
- AI診断後に修正した文章
- 送信日時

収集されないデータ

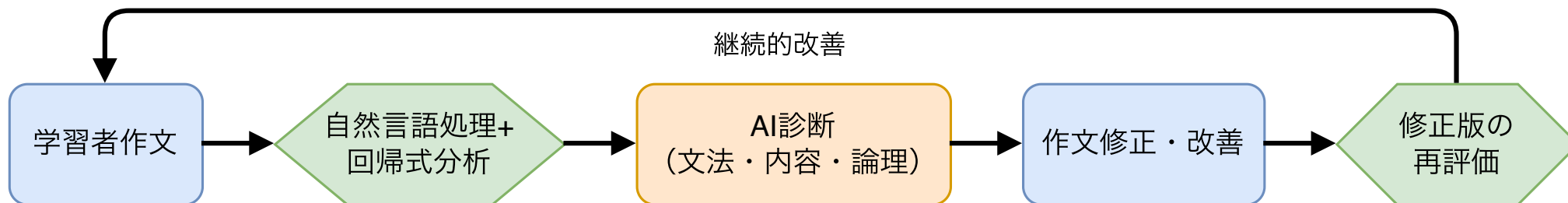
- 氏名やメールアドレス
- 個人を特定できる情報

利用目的

収集されたデータは、日本語学習ツールの改善のための研究目的でのみ使用されません。データは安全に保管され、第三者と共有されることはありません。

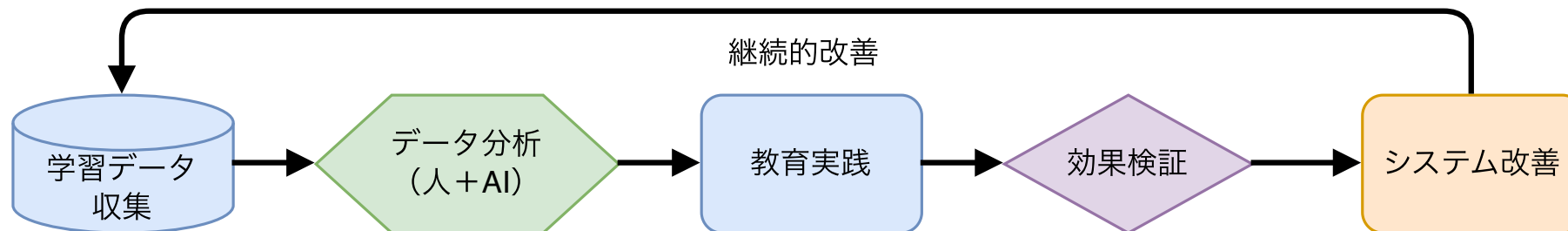
閉じる

jWriterにおける2つの「学習の循環」



学習者の学習サイクル：

学習者はAI診断システムによるフィードバックを得て、自身の課題を把握し、今後の学習につなげていく



学習システムの改善サイクル：

学習データの分析を通じて、教材やカリキュラムを含むシステム自体の継続的な改善を実現する。

4. 変えるべきこと・守るべきこと：AIを活用した学習の循環

■ 評価とフィードバックの高度化

- ・ 複数の観点からの詳細なフィードバック
- ・ 学習データがシステム改善につながる情報を提供

■ ルールと例外の効率的な確認

- ・ 複数用例の提示による理解定着
- ・ 類似例や対照例による帰納的な理解の促進

■ リアルタイムでの代替表現の可視化

- ・ 同じ意味を持つ言い換え表現の提案
- ・ さまざまな表現との「出会い」の提供

■ 個々の学習者に合わせた教材作成

- ・ 習熟度、誤用パターン、学習目的に応じた設定
- ・ 多様な学習ニーズへの対応

AIを活用したツールは、言語学習の「**補助的なツール**」としてだけでなく、従来の教材や人間の教師にはできないことを行う「**補完的なツール**」として役立てることができる。

AIの限界を認識する

- ・ 誤りを含む可能性
- ・ 言語ごとのデータ量の違い
- ・ 文化的ステレオタイプの問題

実践を通じての「接地」の重要性

- ・ リアルタイムで変化する状況に即した発話の理解
- ・ 文脈理解と語用論的推論の重要性
- ・ 相互行為と協働行為の学び

AIは「世界モデル」を持ち、ある意味では「接地」しているが、言語データに基づいた仮想的なものにすぎない。学習者には、それぞれに異なった学習目的、学習履歴、到達度、知識レベル、パーソナリティを持つ。こうした学習者の背景的要素と言語知識を結びつけ、**現実世界における「いま・ここ」と接地させる**べく務めることが、人間の教師の重要な役割ではないか。

補足：「接地」の概念について

接地（grounding）とは？

発話の「今・ここ」に表現を結びつける仕組み。記号やシンボルが実世界の対象や概念とどのように結びつくのかという哲学的・認知科学的問題と関わる。

英語における接地マーカー（認知文法）

The man promised that he would come back.

モノ（thing）レベル：冠詞、指示詞、数の接辞
関係（relation）レベル：時制、法助動詞

Langacker (2008)

日本語における接地（時枝文法）

[[[彼は] 勉強家] です]

詞：概念として客体化された要素
辞：話者の認識・判断そのもの

時枝 (1950)

今日のAIはこのような意味での「接地」の仕組みを使いこなせる
ただしそれは、あくまで言語データに基づく仮想的な接地である。（今井・秋田 2023、長谷部 2025a）

文脈理解と語用論的推論

実際の発話場面における文脈理解・・・単に言語的・談話的なやりとりの理解だけにとどまらない

空間的・時間的・対人関係的・社会的な情報を含む場面の総体いわば（「空気」や「雰囲気」）を読み取るスキルを、AIとの対話によって学ぶことは難しい。

「言外の意味」「ほのめかし」「行間を読む」ことへの気づき・・・現実世界での経験を通じて培われる

AIは「ほのめかし」や「行間を読むこと」を要求しない。訓練によって模倣させることはできるが、現実的な動機や目的とは結びつかない。

現実世界との「接地」と言語学習 ②

人間の言語は必ずしも完全ではない。新聞や雑誌の見出しなどには曖昧な表現も多い。場面・文脈・常識に基づいて「ありそうな解釈」を選び取る力の必要性。



宮城 大崎 クマに庭で飼われていた犬が連れ去られる
news.web.nhk/newsweb/na/na-... #nhk_news

↓ ネットで話題になった後で修正？

宮城 大崎 庭の飼い犬がクマに連れ去られる 近くの森に逃走

2025年10月25日午後1時55分

シェアする



「明瞭でない」表現との接触は、高度な言語知識、言語運用能力を育むだけでなく「言葉の面白さ」を知ることにもつながる。

相互行為と協働行為の学び

言語使用の目的と機能・・・概念の記号化と情報の伝達だけを目的としているわけではない。

発話自体が「行為」としての意味合いを帯びる。

現実の言語使用における「話者」と「聞き手」の役割・・・明確に分かれているとは限らない。相手の発話を肩代わりする、発言を譲り合う、適切なタイミングで切り出すといった協働的過程もコミュニケーションの一部であり、「いつ発言すべきか」「どう切り出すか」という悩みも学習の一部である。

AIとの対話では、こうした「間」や「タイミング」の学びは生じにくい。人間同士のやりとりの中でこそ培われる能力である。

5. まとめ

本講演でお話したこと

- **AIによる言語処理の特性** 多次元構造的把握と並列処理
- **日本語教育でのAI活用** jWriterの紹介 — [テキスト分析+統計モデル] × 大規模言語モデル
- **AIによる学習の循環** 学習者の学習サイクルと学習システムの改善サイクル
- **AIの限界とは** 学習者の言語知識と現実における「いま・ここ」を接地させること
- **変えるべきこと** AIを活用した学習の循環—AIは「補助的なツール」から「補完的なツールへ」
- **守るべきこと** 文脈を読み、曖昧さに対処し、人との協働の中で学ぶ
現実世界との「接地」を通じた言語的な気づきと経験

ご清聴ありがとうございました



2025年度「台湾日本語教育研究」国際学術シンポジウムでの講演の機会を与えて下さった、曾秋桂先生と台湾日本語教育学会の先生方に心より感謝いたします。



本講演で紹介した jWriter の開発と、それに関連する研究は、科研費基盤研究（B）「生成AIを組み込んだ日本語作文診断システムの開発と普及に関する研究」（研究代表者：李在鎬）の補助を受けて行われました。



<https://jreadability.net/jwriter>

※ 登録不要・無料で利用可能